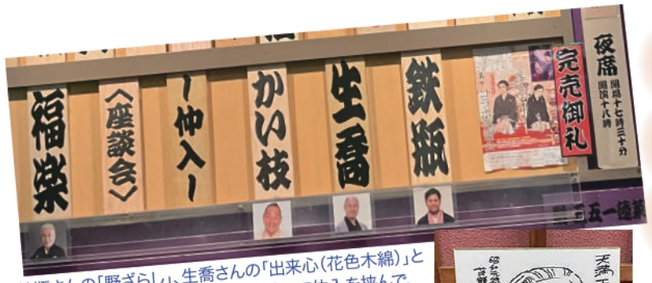
桂福楽と多彩な人々が集い語る情報紙
福ラッキー VOL.040
一笑健命 issyoukenmei
オフィシャルサイト Facebook



鉄瓶さんの「野ざらし」、生喬さんの「出来心(花色木綿)」と寄席の踊り、かい枝さんの「芝浜」と続いて仲入を挟んで、これまで出た三人の座談会。トリは私の「死神」です。

大入り 完売 ありがたや！

繁昌亭夜席「ミュージカル 昭和元禄落語心中 コラボ落語会」

私の落語家人生で、びっくりすることが起きました。4月6日の前売りチケットがたった2日で完売したんです。雲田はるこ先生の漫画「昭和元禄落語心中」が爆発的な人気となりまして、アニメやドラマ、ミュージカルと発展しました。同時期に大阪のフェスティバルホールで開催されるミュージカルのコラボという企画の落語会なんですよ。

この会に俳優さんや女優さんは一人も出ませんし、アニメの上映もあんと理解してる人ばっかりやったんです。原作に出てきた江戸落語を上方流で演じるのを楽しみに来てくれはったんです。

初めからええええムードで進んできまして、いよいよ私が出ていきますと、なんと迎え手のあたたかいこと。こんな拍手はホンマ久しぶりです。高座と満員の客席が一体となるのを実感しました。会場には雲田先生もお見えで、お楽しみいただけたようです。いやぁ、ええ会になりましたわ。

終演後、出演者４人揃って

落語家４人だけです。「勘違いして買おた人がいてはんのとちゃう?」と思とりましたが、さにあらず。皆さんちゃ

福楽会主催の会でも！「芸者さんと落語の会」

2月8日に奈良の古々粋亭で開催したこの会も第一回に続いて完売、場内はお客様でびっしり。この会は奈良の芸者さん、雛菊姐さんをゲストに迎えての第二弾。前回と一緒でお姐さんのお客様が大勢来てくれはりました。私がお茶屋にちなんだ落語を2席、お姐さんが上方舞と座敷舞の2曲、それと二人の対談でお楽しみいただきました。立派な舞台と良いお客さんの前で開催させていただき、大感謝です。残念ながら古々粋亭さんはやめはることになりましたが、これからも奈良での落語会を続けていきたいと思てます。

右が一席目の「たいこ腹」左がトリの「百年目」

大入りの会はありがたいですし、気持のええもんです。自分の出る会はいっつもこうやったらええんですけど、そない世の中甘いもんやおまへん。トホホの時もありますわ。「普段の福楽の会はどれぐらい入るねんやろ」と思てる方、ぜひともその目ぇで確かめに来てください。お頼申します!!

キャリア15年の噺家がトリを取る「翔ぶトリウィーク」

1月20日から26日までの繁昌亭昼席は、弟弟子の福点君がトリを取る一週間となりました。彼は目が不自由なんですけれども、とても明るくおもろい男です。私はこの公演に3回出させてもらいました。

神戸の喜楽館昼席でも3月24日から30日同様の公演がありまして、2回出演。彼が入門志願をした時、私もその場に居りまして今でもよう覚えてます。才能のある芸人ですので、どうぞ応援してやってください。

喜楽館では、2月の17日と18日にも舞台を踏みました。桂二葉ちゃんが初主任のウィークの出番でした。後輩の人に呼んでもらえるのは嬉しいこってす。こんな機会をもっと増やさんとあきませんなぁ。

←当日の様子は二葉ちゃんのYouTubeに

編集後記のようなもの

◉今年の「彦八まつり」は5月の17日と18日の2日間、生國魂神社の境内いっぱいに落語家が屋台を出して、参集殿では奉納落語会を中心に楽しい出し物が繰り広げられます。昨年は無かった野外ステージも復活して、おもしろいイベントが目白押しです。恒例の「福楽の人生相談」もありますよ。たくさんの落語家が一堂に会するのは、このまつりだけです。ぜひともお越しください。◉今年10年を迎えた福ラッキー、次号で11年目に入るのにあわせて、ぷちリニューアルを考えています。どうぞお楽しみに。(編集長のようなもの)

次号「福ラッキー」は夏に発行予定。福楽会主催の落語会で配布。お渡しできない会員様には郵送。(更新済みの方のみ)
＊主催でない出演時に配ることもあります。
＊各号なくなり次第配布を終了します。

ご感想や投稿、入会のお問い合わせ等
〒545-0003
大阪市阿倍野区美章園1丁目7-3-402
桂福楽連絡事務所
TEL&FAX06-6624-2868
kamigatarakugo.fukurakukai@gmail.com

発行／福楽会
題字／いわみせいじ
企画・制作／福ラッキー編集チーム

プチ楽屋風景

左より三味線の佐々木千華・林家染左・私・林家勘左・(敬称略)

これからの底力は初ゲストも続々登場予定

今年9月21日(日)はスペシャル版！繁昌亭夜席で開催します

毎月21日は動楽亭で FUKURAKU DAY 福楽の底力

平日午後７時、土日祝午後２時開演。毎回ゲストと対談をしています。

2025 1月 桂 三象 興味シンシン!! 新春 三象新舞踊

私が唄とて踊ってもらうのは３回目ですが、今回が一番むつかしい歌でしたわ。

2月 桂 楽珍 ふるさとは遠きにありて思うもの 近かったら思わんか？

楽珍さんのふるさとは徳之島。驚く話がぎょうさん出ましたけど、ホンマかいな。

3月 林家 染左 そろそろ新学期、新年度 さぁ何を始める？

学校で履き替えてた上履きを、上靴と言う人が多数派と知ってビックリ！

■福楽会入会のご案内

【入会金】 無料
【年会費】 福楽カード2枚
福楽カード：1枚1000円
福楽会主催公演とグッズ購入にご利用いただけます
【更新】 4月一斉
【会員特典】 実質無料!
①福楽会主催公演は当日も前売料金
②主催公演では会員用スタンプカードの利用で6回に1枚福楽カードを進呈
③福楽会の集いに優先案内&割引
④会員証発行
⑤「福ラッキー」を手渡し又は送付
「福楽の底力」で毎月受付いたします

【入会申込み方法】
①福楽会主催公演会場や彦八まつりの福楽ブースに申し込み用紙をご用意
②左記の連絡事務所迄ご連絡ください
※口座を開設しました。入会にご利用いただけます。書類のお申込み後に郵便振替またはお振込いただき、着金を確認しましたら、福楽カードを郵送させていただきます。更新手続きにもご利用ください。
郵便振替：00990-6-333556
口座名：福楽会
(お振込の場合)
店名：ゆうちょ銀行 〇九九店
種目：当座 口座番号 0333556

司法書士は、身近な街の法律家です。お気軽にご相談ください。
■不動産登記
■会社・法人登記 等
中井深田司法書士事務所
06-6363-2521
大阪市北区西天満4丁目8番8号
n-office@iris.eonet.ne.jp
http://nf-office1933.com/

楽しく歩いて 健康づくり
アイアイクック
近鉄長野線「富田林駅」東に1分
https://www.iikook.com/
予約☎0721-23-5553

医療法人 康和会 苗加病院
診療科目 整形外科・内科 リハビリテーション科・在宅医療 泌尿器科・皮膚科
西淀川区姫里 2-17-21
☎(06)6471-0015
苗加病院デイサービスセンター ゆいのきり 利用者様募集中!!
西淀川区姫里 2-16-24
☎(06)6471-5555

良い耳で 良い噺
つげ耳鼻咽喉科
〒443-0045愛知県蒲郡市旭町4-15
TEL0533-68-1187 FAX0533-68-9006
院長 柘植 勇人 Isato Tuge

たかたか寄席も来てネ！
たべてやお好み焼き
たかたかのおいしい
たかたか
大阪市住之江区粉浜1-9-16 メトロ「玉出」3南へ2分
☎06-6678-7223 17時～24時(L.O.23時)

第十回 桂福楽の「この人に聞きたい」
ふるさと永和にもっとお笑いを
漫談家・河内亭寄席席亭 河内亭九里丸さん

私が通っていた永和小学校の同級生のお兄さんで2学年先輩に当たります。大叔父（祖母の弟）が漫談家花月亭九里丸、曽祖父がチンドン屋の草分け丹波屋九里丸。若い頃から上方の芸能に興味を持ち、同時に花月亭九里丸の名跡を後世に残すため、自ら九里丸を名乗られ、屋号を河内亭とされました。

■私が中一の文化祭でやった「時うどん」を憶えてはるそうで

ものすごうよう憶えてます。福楽さんがお友達と落研を作って演られたんですね。

■九里丸の名前は身近でしたか

小さい時から親戚が集う場で何か面白いことを言うと「九里丸さんみたいやなぁ」と言われてきたので「九里丸」の名前は物心ついた時から刷り込まれてました。

■自ら九里丸を名乗られたのは

20年ぐらい前です。先代は吉本との関係があって花月亭でしたが、初代は丹波屋。しかし私は活動を大阪でやってるので「河内亭」がいいと考えました。

■先代は大正・昭和に活躍を

戦後初の寄席となる戎橋松竹が開館する時に船渡御をもじってハリボテの船を作って担いで歩いた。お金がないからね。船の舷（げん）を担いで験担ぎ（げんかつぎ）やという洒落付きで。五代目松鶴、二代目春団治、四代目米団治という師匠方が一緒にされてました。

■評判のプロデュース力の源は

それはチンドン屋の手法。初代の丹波屋九里丸と親子で大阪中回ってチンドン屋をやっていたのが身についていたのです。日露戦争のあと、大砲の中にあんぱんを詰めて売ったり、そんなことを丹波屋九里丸が考え出したのです。それを子供の時に一緒に見ていたというのは芸風の中にあるやろうと思います。

初代丹波屋九里丸と子供の頃の花月亭九里丸

落語はすごく好きで、子供の頃から米朝師匠のテープやレコードは全部買い集めてました。

■これからの活動について

先代の九里丸も言うてるのですが漫談というのは引き継ぐ芸でも何でもない。その時その時代のことを喋る泡（あぶく）みたいなもの。ですが、私はそれだけでなく、いろんなものを残したい。今書いてるもののひとつは、初代の丹波屋九里丸と二代目花月亭九里丸の「親子九里」をテーマにした小説です。明治の初期から昭和の終戦後ぐらいまで上方の芸人さんの生き様を色々交差させながら書き残していく。先代九里丸の娘さん達にもお会いして取材をしてきました。それと落語「東の旅」で新たに東大阪の河内名所を書く。それを福楽さんに演っていただく。二人タッグを組んでやっていきましょう。

■貴重な資料も多数お持ちとか

先代の葬式の動画が残っているんです。音声はなくて映像だけですが、そこに松鶴・米朝・春団治・文枝の四天王が皆映ってる、そんなんを見てこれは誰やとか言うのも結構楽しいと思います。ちょっと一杯やりながらとかね。

そういう会もぜひやってほしいですね。これからのご活動に私も協力させていただきたます。よろしくお願いいたします。

【河内亭九里丸（かわちていくりまる）】1957年大阪府布施市永和（現東大阪市永和）生まれ。2011年『上方落語散歩』を出版。今年3月に「河内亭寄席」を始める。本名：松平要。前東大阪市議会議員。

「河内亭寄席」始まる（3月9日）

河内亭九里丸さんが席亭となり、近鉄・JR「河内永和駅」のすぐそばにある市民多目的センターで「河内亭寄席」という落語会が誕生しました。

私は今まで故郷で落語を演ったことが無いんですよ。なんとさびしいことでしょう。しかし遂に故郷へ錦ヘビを、いやいや錦を飾ることが出来ました。自分の生まれたとこという安心感ですかね、ええ感じの会でした。「代書」と「京の茶漬け」の2席に、九里丸さんの漫談、2人の対談という番組。

50年以上会おてない同級生が来てくれて懐かしかったですわ。出番が無かっても行きたい会やと思いました。

連載 「福楽ワールド」ができるまで 最終回
～ワールドはまだまだ進化していきますぞ！～

10年続いたこの連載で色んなことを書いてきましたけど、そもそも福楽ワールドてなんやねん？と思てる人多いでしょ。これは私の落語の芸風のことですねん。いつどなたが名付けてくれはったんか、忘れてしもたんですけど、ええネーミングやと気に入ってます。1979年（昭和54年）の12月にこの世界へ入って45年と数ヶ月が経ちました。20才の若造が65才の初老になったんです。あっという間は大げさですけど、早かったですな。

自分の芸風を語るんは、恥ずかしいような間違うてるような気ぃがしますけど、もっとおもろい、ほんで上手い、それから華のある落語家にならなあきませんなぁ。おかげさんで高座の安定感や、アドリブを入れる余裕みたいなもんは身についたと思てます。こんだけやってたら当たり前のことですなぁ。私一人だけの力やありませんけど、大入りの会に出させてもろたり、遅まきながら繋昌亭のトリにしてもろたり、少しずつですけどええ具合に動いてきました。

噺家に定年はありません。その代わり退職金もおまへんけどね。死ぬまで高座に上がるつもりですんで、これからも福楽ワールドの進化をお楽しみに。まだまだ変わりませ。年寄りになってホンマにボケてきたら、ええ味出すと思いますわ。これが究極の福楽ワールドかもしれまへんで。（おわり）

桂福楽の人生相談 どんなお悩みでもお気軽に！

尼崎市 太神楽曲芸師 豊来家大治朗

【お悩み】私は「剣の輪くぐり」という刃物の刺さった輪の中をくぐり抜ける芸をしています。ですが、その芸が危険だという理由で、傷害保険の加入を断られてしまいました。この芸をやめないで、傷害保険に入る良い方法はないでしょうか。

（尼崎市 太神楽曲芸師 豊来家大治朗）

【回答】あなたのその芸は、いつもハラハラしながら拝見しています。しかし見事に成功して、安心感を与えてくれますね。

世の中には危険を伴う仕事は少なくありません。爆発物を使用する工事現場や高所で仕事をする人。スタントマンやプロボクサーやカーレーサーなど。傷害保険に加入出来なかったり、怪我をした場所や状況によって支払いの対象外になることがあるようですね。曲芸師がその対象になるとは正直知りませんでした。保険の種類も色々で全てに入れないかというと、そうでもないようですが、保険金の額に制限がつけられる場合が多いです。先ずはあなたが折り合える会社を探してみてください。曲芸界のみならず、危険な仕事をされている人達にもフィールドを拡げて相談されてはどうでしょう。

それと、運動能力が必要な仕事は、年齢を重ねるとどうしても困難になる時期がくると思います。そうなるとハラハラするのはお客さん以上にご家族かもわかりません。その時の為に危険度の少ないコミカルな曲芸で笑いを誘う、そんな芸風も今から備えておけば、身体も老後も安心ではありませんか。いわば〝芸に保険をかけておく〟ということですね。

運動をほとんどしない噺家が、老婆心ながら申し上げます。

楽屋風景プラス 天満天神繋昌亭 昼席
〈2月24日～3月2日〉

【撮影】繁昌亭アドバイザーの恩田さん

前列左より:桂福留・桂梅団治・私・桂三象・桂文昇、中列左より:笑福亭喬明・三味線の佐々木千華と中田まなみ・桂文三・林家勘佐、後列左より：桂笑金・桂小文三・ジャグリングのトルマリ・林家染左・桂三実・漫才のハイカロリーズ・クリスとゆっき～・マジックのビックリツカサ（敬称略）

繁昌亭昼席で初めて一週間のトリを勤めました。芸歴45年で繁昌亭が出来て19年にして、やっと実現。大変ありがたいですし嬉しいことです。私はいつになったら一週間のトリを取れるんやろ、ひょっとしたらこのまま死ぬんちゃうんかな、と思てましたからね。出番をもろてから今度はお客さんが来てくれはるやろかと不安になってきたんで、できるだけの宣伝はしたつもりです。

普段の楽屋

気の合う噺家が揃いまして、楽しい賑やかな雰囲気の一週間になりました。

私が演ったネタ：「寝床」「狼講釈」「仔猫」「ふたなり」「死神」「うちがい盗人」「鰻のたいこ」恐いネタ多いなぁ。

フタを開けたら、おかげさまで思てたよりたくさんの方が来てくれはりました。ありがとうございます。さて、2回目はいつになりますか。…頑張ります！

舞台袖から福留君撮影
演目は「ふたなり」

打ち上げ。楽屋同様、おもろい飲み会でした。毎日やりたいぐらいですわ。

ありがとう古々粋亭！
席亭の落語愛は永遠に続きますが…

1面でも触れましたが、奈良の落語喫茶 古々粋亭さんが2月9日で営業を終了されました。

大阪に比べると奈良は落語会が少ないのですが、足場の良いこの会場は貴重な存在でした。この度の終了は大変残念なことです。そして落語会の運営の難しさが改めてわかりました。

席亭の井上さん、奥さん、色々お世話になり本当にありがとうございました。またお会いしてゆっくりお話させていただきたいと思います。今後のご健勝をお祈り申し上げます。